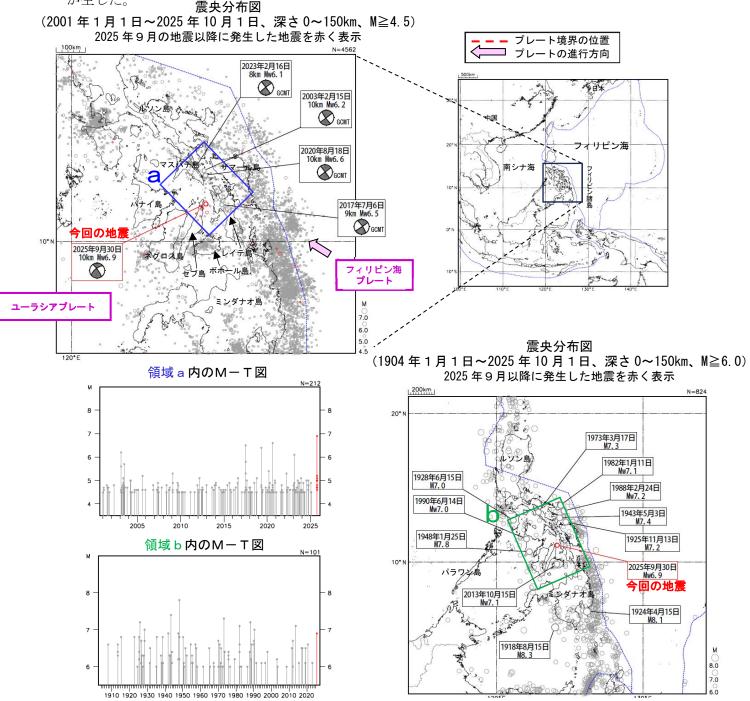
9月30日 フィリピン諸島、レイテの地震

2025 年 9 月 30 日 22 時 59 分 (日本時間、以下同じ) にフィリピン諸島、レイテの深さ 10km で Mw6.9 (Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード) の地震が発生した。この地震の発震機構(気象庁によ る) は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

気象庁は、この地震に対して、同日23時18分に北西太平洋津波情報を発表した。また、同日23時20 分に遠地地震に関する情報(日本への津波の影響なし)を発表した。また、この地震により、死者 68 人 等の被害を生じた。

2001 年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域 a)では、M6.0以上の地震が時々発生して

1904 年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域 b)では、M 7 を超える地震が時々発生し ている。2013 年 10 月 15 日に発生した Mw7.1 の地震(Mw は気象庁による)により、死者 222 人等の被害 が生じた。



※本資料中、2013 年 10 月 15 日の地震と今回の地震の Mw は気象庁による、また図中のその他の吹き出しの地震の Mw は Global CMT による。今回の地震 の発震機構は気象庁による、その他の吹き出しの地震の発震機構はGlobalCMTによる。その他の震源要素は、2001年以降の活動を示した図(上図)に ついては米国地質調査所(USGS)(2025年10月2日現在)により、1904年以降の活動を示した図(下図)については、2021年まではISCGEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12(1904-2021)、2022 年以降はUSGSによる(2025 年 10 月 2 日現在)。また今回の地震の被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)による(2025年10月3日現在)。その他の地震の被害は、 宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird(2003)*より引用。

*参考文献 Bird,P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, Geochemistry Geophysics Geosystems, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252. 61